

【表】 肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例(注) 【国内第Ⅱ相試験】

国内第Ⅱ相試験における 肝機能検査値異常の投与中止・中断基準	シレニア		プラセボ群 (n=57)
	0.5mg群 (n=57)	1.25mg*群 (n=54)	
肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止	0例(0%)	2例(3.7%)	1例(1.8%)
ALTがULNの5倍以上増加	0例(0%)	1例(1.9%)	1例(1.8%)
ASTがULNの5倍以上増加	0例(0%)	0例(0%)	0例(0%)
総ビリルビンが2.0mg/dLを超えて増加	0例(0%)	1例(1.9%)	0例(0%)
投与中断→再開後に投与中止	1例(1.8%)	1例(1.9%)	0例(0%)
投与再開後、ALTが再度ULNの3倍以上増加	1例(1.8%)	1例(1.9%)	0例(0%)
投与再開後、ASTが再度ULNの3倍以上増加	0例(0%)	0例(0%)	0例(0%)
投与中断→再開(投与中止なし)	2例(3.5%)	2例(3.7%)	0例(0%)
ALTがULNの3倍以上増加	2例(3.5%)	2例(3.7%)	0例(0%)
ASTがULNの3倍以上増加	0例(0%)	0例(0%)	0例(0%)

ULN：基準値上限

【肝機能検査値異常の判定基準】 ・ALT>90U/L ・AST>82U/L ・γ-GTP>130U/L ・総ビリルビン≧2.0mg/dL
 (注) 国内臨床試験において、肝機能検査値の基準に合致した後、治験薬の投与を1ヵ月以内に中止、または中断した症例の割合を
 提示した。なお、中止理由、中断理由にかかわらず集計した。

【社内資料：国内第Ⅱ相試験 (D1201試験) 【承認時評価資料】】

※0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

0.5mg群において、肝機能検査値の基準に合致した後に投与中止・中断した症例は1例(1.8%)であった。

□□□□

□□□□□□□□□□PML□

□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□

Source URL: https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/gilenya/point/subeffect_05